

投資家・国民の皆さま

WEB はウェブサイトのみに掲載している記事を示しています。

公正、透明、健全な事業活動

透明性の高い経営の推進と着実な債務返済



外部評価による透明性確保

- ▶ 外部評価により透明性の向上を図っています
- ▶ 2018年度 事業評価監視委員会 委員 **WEB**
- ▶ 2018年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業 **WEB**

低利率かつ安定的な資金調達

- ▶ 道路建設資金の安定的な調達に努めています **WEB**

積極的な情報公開

ステークホルダーとの対話



社長による定例記者会見

- ▶ 毎月の社長定例会見で情報発信をしています

投資家・金融機関の皆さまとの対話

- ▶ 事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています **WEB**
- ▶ 投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています **WEB**

地域住民の皆さまとの対話

- ▶ 高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています **WEB**

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

- ▶ 高速道路の現場を多くの方に見学していただいています **WEB**

メディアを通じた情報発信



マスコミ向けプレスツアーの開催

- ▶ 建設現場等をマスコミ向けに積極的に公開しています

積極的な情報発信

- ▶ 高速道路を快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています **WEB**

外部評価による透明性確保

外部評価により透明性の向上を図っています

当社では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。毎年1回開催し、当社的高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。

2018年度 事業評価監視委員会 委員

○ 常任委員

出野 精二 [(公社)関西経済連合会 常務理事・事務局長]
帯野 久美子 [(株)インターアクト・ジャパン 代表取締役]
正司 健一 [神戸大学大学院教授]
戸田 常一 [広島大学大学院教授] = 委員長
中瀬 勲 [兵庫県立人と自然の博物館 館長]

○ 特別委員

長谷川 修一 [香川大学教授]

2018年度 事業評価監視委員会 事業評価対象事業

○ 再評価※1

近畿自動車道敦賀線 (福知山～舞鶴西) 22.8 km

○ 事後評価※2

一般国道478号 京都縦貫自動車道 (京都第二外環状道路) 久御山IC～沓掛IC 15.7km
東九州自動車道 (門川～西都) 58.9km
計 3 事業 97.4km

※1 再評価：採択後3年を経過して未着工の事業および5年を経過して継続中の事業、再評価実施後3年経過した時点で継続中もしくは未着工の事業について実施し、事業の継続もしくは中止の方針を決定します。

※2 事後評価：事業完了後（完了後5年以内）に、事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置、同種事業の計画・調査のあり方等を検討するもの。

関連ページ

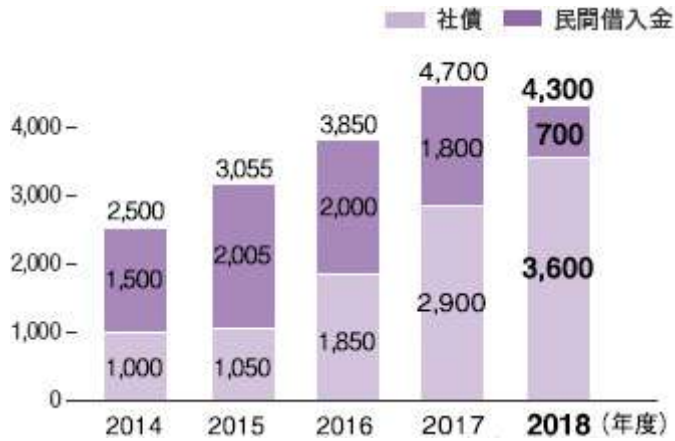
▶ [平成30年度 西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会](#)

低利率かつ安定的な資金調達

道路建設資金の安定的な調達に努めています

高速道路事業の遂行に必要な資金については、社債の発行や民間金融機関からの借入等によって調達しています。建設から管理まで長期にわたる事業となるため、低利かつ安定的に調達できるよう努めています。

▼資金調達の推移（単位：億円）



関連ページ

- ▶ [高速道路事業のスキーム](#)

ステークホルダーとの対話

社長による定例記者会見

毎月の社長定例会見で情報発信をしています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。

また、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を毎年開催し、経営層と直接対話いただく機会を設けています。



定例記者会見の様子

投資家・金融機関の皆さまとの対話

事業説明会を毎年開催し、わかりやすく丁寧な情報提供を心がけています

毎年7月に投資家や金融機関の皆さまをはじめとした市場関係者を対象に事業説明会を開催し、当社の事業に対する理解を深めていただくよう努めています。

企業情報や決算情報に加え、2018年度は、平成30年7月豪雨の対応状況、近畿圏の新たな高速道路料金、新名神高速道路の開通効果及び建設状況、高速道路リニューアルプロジェクト（特定更新等工事）の主な工事計画のほか、2018年度の資金調達についてご説明しました。質疑応答などを通じて、経営層と直接対話いただく機会とすることで、双方向コミュニケーションの場としても活用いただいています。

今後も皆さまの関心が高い事項をご説明するなど、より充実した説明会となるように努めてまいります。

投資家・金融機関の皆さまへの個別訪問を実施し、タイムリーな情報提供を心がけています

投資家や金融機関の皆さまを個別訪問を実施し、事業のスキームや債務の特徴をはじめ、事業計画、財務情報等、関心が高い事項についてご説明しています。

今後も、当社の事業に対するいっそうの理解促進を図るべく、積極的かつタイムリーな情報提供に努めていきます。



2018年度 事業説明会写真

地域住民の皆さまとの対話

高速道路の新設・改築の際は、地元・関係者の皆さまとの協議・事前説明を徹底しています

高速道路を新設・改築する際には、地元自治体や警察、公共施設の管理者などの各関係機関や、計画道路の沿道地域の皆さまと入念な協議を重ねたうえで事業を進めています。

また、説明会や設計協議 [☞](#) の場でいただくご意見については、設計や計画に可能な限り反映させるよう努めています。

事業の全体概要はもちろん、環境対策や事業用地の取得など特に関心の高い事項については、必要に応じて現地での立ち会いや説明会を実施し、関係者の十分な納得が得られるまで説明を行っています。



事業説明会（新名神大津事務所）



境界立会（新名神京都事務所）

現場見学会「なるほど！高速道路発見」

高速道路の現場を多くの方に見学していただいています

普段は、目にすることのできない高速道路の現場を多くの皆さんに見学していただき、当社の安全・安心の取り組みなどを“なるほど！”と発見していただく、現場見学会「なるほど！高速道路発見」を2014年度から開催しています。これまでに2,270組6,008人のご応募をいただき、462組1,255人のお客さまにご参加いただきました。

道路建設事業では最盛期をむかえる建設工事の現場を、道路保全事業では道路維持や道路パトロールで使用する車両の乗車体験などの見学会を開催しました。

また、社員の技術力向上を目的として開設した茨木技術研修センター（アイトレ）では、親子を対象に、舗装排水実験や劣化した橋梁のたたき点検、料金収受などの高速道路に係るさまざまな業務を体験していただきました。

参加いただいたお客さまからは「いろいろな工夫をしながら高速道路を造っていることがよくわかった」などのご感想をいただいています。



吉野川大橋工事_建設現場見学



播磨新宮IC工事_建設現場見学



高所作業車_乗車体験



舗装排水実験_アイトレ施設公開

メディアを通じた情報発信

マスコミ向けプレスツアーの開催

建設現場等をマスコミ向けに積極的に公開しています

2018年度は、新規開通スマートIC・高松自動車道4車線化・リニューアル工事現場のマスコミ向けプレスツアーを開催しました。

プレスツアーでは現場公開のほか、概要説明、スマートICにおいては利用方法・注意事項の説明、実車によるデモンストレーション走行を公開し、テレビ・新聞等を通じ、高速道路の安全・安心に向けた取り組みを積極的に情報発信しました。

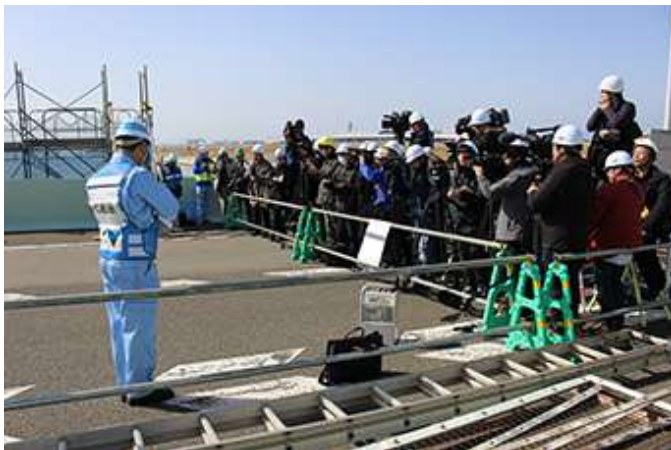
また、広島呉道路・高知自動車道立川橋の被災現場や、関空連絡橋の復旧作業等の公開を行い、一日も早い復旧に向けた姿勢について地域の皆さま・利用者の方々のご理解を得るよう取り組みを行いました。



和歌山南スマートIC建設現場公開



和歌山南スマートIC建設現場公開



橋梁架設マスコミ公開



広島呉道路復旧現場公開

高速道路を快適にご利用いただけるよう、積極的な情報発信に努めています

当社では、50周年を迎えた名神高速道路をはじめとして、建設から30年以上が経過した道路を多く管理しており、老朽化した高速道路の抜本的な補修を行っております。

これらの大規模更新・修繕事業（高速道路リニューアルプロジェクト）や集中工事は長期間にわたる交通規制を余儀なくされ、ご利用されるお客さまをはじめ、高速道路沿線の皆さまにも大きな影響を及ぼすことから、高速道路の損傷や老朽化の状況をお知らせし、健全な道路を次世代につなげるための工事であることを広く認識いただく必要があります。

そのためテレビ・ラジオCMをはじめ、高速道路の掲示板やSA・PAのハイウェイ情報ターミナル、リーフレット、ポスター、お客さまセンターなど、あらゆるコミュニケーション手段を活用してお客さまにお伝えしています。

また、WEBサイトでは、渋滞を回避して快適にご利用いただくために、工事規制予測や渋滞予測の情報を掲載するなど、日々、新鮮でお役立ちいただける情報発信に努めています。



テレビCM



ポスター